

---

令和元年度

人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

---

人吉市監査委員

人監第170号  
令和2年10月23日

人吉市藍田財産区管理者  
人吉市長 松岡隼人 様

人吉市監査委員 井上祐太

人吉市監査委員 犬童利夫

**令和元年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について**

地方自治法第233条第2項の規定により、令和元年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算及び附属書類の審査を行ったので、その結果について、次のとおり意見書を提出する。

## 目 次

第 1	審査の対象	2
第 2	審査の期間	2
第 3	審査の方法	2
第 4	審査の結果	2
第 5	審査の概要	3
1	決算の総括	
(1)	決算収支の状況	3
(2)	歳入の状況	4
(3)	歳出の状況	6
第 6	財産に関する調書	8
	審査のむすび	10

# 令和元年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

(1) 令和元年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

### 2 付属資料

(1) 令和元年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書

(2) 令和元年度 人吉市藍田財産区特別会計実質収支に関する調書

(3) 令和元年度 人吉市藍田財産区財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年9月9日から令和2年9月18日まで

## 第3 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類（歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）について、関係法令に準拠して作成されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係帳簿及び証拠書類との調査照合を行い、必要に応じて関係職員の説明、参考書類の提出を求め、定期監査、例月出納検査等の結果を参考として、各計数の正確性について審査を行った。

## 第4 審査の結果

1 審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類は、関係法令に準拠した様式で作成されており、また、決算計数も関係帳簿と照合した結果正確であり、当年度における決算を適正に表示しているものと認めた。

2 令和2年5月末日における令和元年度歳計剰余金（歳入歳出差引額）は、金融機関が発行した預金残高証明書と照合した結果一致した。

## 第5 審査の概要

### 1 決算の総括

#### (1) 決算収支の状況

(単位:円、%)

区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
(1)歳入総額	28,250,724	35,264,303	△ 7,013,579	△ 19.9
(2)歳出総額	19,195,182	24,717,266	△ 5,522,084	△ 22.3
(3)歳入歳出差引額	9,055,542	10,547,037	△ 1,491,495	△ 14.1
(4)翌年度繰越財源	0	0	0	
(5)実質収支	9,055,542	10,547,037	△ 1,491,495	△ 14.1
(6)単年度収支	△ 1,491,495	△ 774,808	△ 716,687	92.5
(7)積立金	2,587,912	100,888	2,487,024	2,465.1
(8)積立金取崩し額	7,500,000	0	7,500,000	皆増
(9)実質単年度収支	△ 6,403,583	△ 673,920	△ 5,729,663	850.2

当年度の決算規模は、上記のとおりで、歳入総額 28,250,724 円、歳出総額 19,195,182 円、歳入歳出差引額は 9,055,542 円となっており、前年度に比べ歳入は 7,013,579 円(19.9%)減少し、歳出は 5,522,084 円(22.3%)減少している。決算収支の状況は、歳入歳出差引額(形式収支)、実質収支はいずれも 9,055,542 円となっている。

また、この額から前年度実質収支 10,547,037 円を差し引いた単年度収支は 1,491,495 円の赤字となり、さらに、この単年度収支に黒字要素の財政調整基金積立金 2,587,912 円を加え、赤字要素の積立金取崩し額 7,500,000 円を差し引いた実質単年度収支は 6,403,583 円の赤字となっている。

#### 【参考】

##### ※単年度収支の考え方

当年度の実質収支と前年度の実質収支の差であり、当該年度だけの収支を把握するための指標である。

##### ■要点1 単年度収支が黒字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には当該年度に新たな剰余を生じたことを意味し、赤字の場合には過去の赤字を解消したことになる。

##### ■要点2 単年度収支が赤字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には過去の剰余金の食いつぶしであり、赤字の場合には赤字額が増加したことを意味する。

## (2) 歳入の状況

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R01	28,116,000	28,262,894	28,250,724	0	12,170	100.5%	100.0%
H30	35,135,000	35,307,978	35,264,303	0	43,675	100.4%	99.9%
増減	△ 7,019,000	△ 7,045,084	△ 7,013,579	0	△ 31,505		

→収入済額は、前年度に対し、7,013,579円(19.9%)減少している。

→歳入の内訳は、審査資料第1表、第2表のとおりである。

→なお、款別の内訳は以下のとおりである。

### 1 款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R01	2,000	0	0	0.0%	
H30	2,000	0	0	0.0%	
増減	0	0	0		

### 2 款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R01	4,971,000	5,128,023	5,115,853	0	12,170	102.9%	99.8%
H30	13,966,000	14,142,394	14,098,719	0	43,675	101.0%	99.7%
増減	△ 8,995,000	△ 9,014,371	△ 8,982,866	0	△ 31,505		

→収入済額は、前年度に対し8,982,866円(63.7%)減少している。減の主な要因は、財産売払収入のうち素材売払収入である。

→収入未済額は、財産運用収入のうち土地貸付収入12,170円である。

## 資料

### (ア) 財産の貸付状況

NO	名称	契約件数	金額(円)	備考
1	一般貸付	9	110,440	
2	企業貸付	9	733,878	ソフトバンク(株)、(株)NTTドコモ九州 外
3	公共貸付	2	431,588	人吉市(梅園及び駐車場)、人吉警察署
4	九州電力(株)熊本支社	2	257,427	
5	九州電力(株)人吉営業所	1	101,089	
6	西日本電信電話(株)熊本支店	1	44,580	
7	九州電力(株)人吉配電事業所	1	2,160	二次占用
合計		25	1,681,162	

(イ) 素材生産販売委託事業実績

番号	在 地			樹 種 (林齢)	面 積 (ha)	材 積 (m <sup>3</sup> )	売上金額(円) (内消費税額)	素材生産販売 委託事業費(円)	組合市場 手数料(円)	純利益 (円)	備 考
	字	林 班	小 班								
1	駒返	68	380 他	杉・檜 50~60	AB材 5.70	249.441	3,159,268 (287,206)	2,743,851	347,518 (31,592)	67,899 (255,614)	R2.1.27 単価契約
合 計					5.70	249.441	3,159,268 (287,206)	2,743,851	347,518 (31,592)	67,899 (255,614)	

3 款 繰入金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R01	8,089,000	8,088,286	8,088,286	100.0%	100.0%
H30	940,000	939,384	939,384	99.9%	100.0%
増減	7,149,000	7,148,902	7,148,902		

➡収入済額は、前年度に対し7,148,902円(761.0%)増加している。大幅な増の要因は、財政調整基金繰入金である。

4 款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R01	10,547,000	10,547,037	10,547,037	100.0%	100.0%
H30	11,321,000	11,321,845	11,321,845	100.0%	100.0%
増減	△774,000	△774,808	△774,808		

➡収入済額は、前年度に対し774,808円(6.8%)減少している。

5 款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R01	4,507,000	4,499,548	4,499,548	99.8%	100.0%
H30	8,906,000	8,904,355	8,904,355	100.0%	100.0%
増減	△4,399,000	△4,404,807	△4,404,807		

➡収入済額は、前年度に対し4,404,807円(49.5%)減少している。減の主な要因は、分収造林分収金などである。また、九州おひさま発電株式会社から財産管理協力金2,547,900円が増となっている。

### (3) 歳出の状況

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額	執行率
					対予算
R01	28,116,000	19,195,182	0	8,920,818	68.3%
H30	35,135,000	24,717,266	0	10,417,734	70.3%
増減	△ 7,019,000	△ 5,522,084	0	△ 1,496,916	

➡ 支出済額は前年度と比べ、5,522,084円(22.3%)減少している。

➡ 不用額は前年度と比べ、1,496,916円(14.4%)減少している。

#### 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R01	5,345,000	5,236,524	0	108,476	98.0%
H30	5,036,000	4,685,469	0	350,531	93.0%
増減	309,000	551,055	0	△ 242,055	

➡ 支出済額は、前年度に対し551,055円(11.8%)増加している。

➡ 支出の主なものは、人件費(議員報酬)4,246,000円などである。

➡ 不用額の主なものは、備品購入費(議員作業服)72,204円などである。

#### 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R01	3,817,000	3,284,573	0	532,427	86.1%
H30	3,722,000	3,030,765	0	691,235	81.4%
増減	95,000	253,808	0	△ 158,808	

➡ 支出済額は、前年度に対し253,808円(8.4%)増加している。

➡ 増の主な要因は、備品購入費(カラー複合機)などである。

➡ 不用額の主なものは、人件費(時間外等勤務手当)83,649円などである。

#### 3 款 財産費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R01	7,406,000	6,594,816	0	811,184	89.0%
H30	16,267,000	15,960,570	0	306,430	98.1%
増減	△ 8,861,000	△ 9,365,754	0	504,754	

➡ 支出済額は、前年度に対し9,365,754円(58.7%)減少している。

➡ 減の主な要因は、委託料(素材生産販売委託)、備品購入費(公用車購入)である。

**資料**

(ア) 財産費のうち財産管理費の内訳

(単位：円)

区分		金額	備考
1	物件費	需用費	109,962 公用車修繕料及び燃料費等
		役務費（手数料）	867 土地売払事務処理手数料
		委託料	4,155,291 素材生産販売委託料等
		使用料及び賃借料	294,000 機械借上料
		原材料費	227,280 山ズリ等購入費
		小計（A）	4,787,400
2	住民等への補助	負担金、補助及び交付金	730,800 藍田財産管理協力会交付金
			1,000,000
		小計（B）	1,730,800
3	その他	役務費（保険料）	50,711 公用車損害共済金等
		小計（C）	50,711
合計（A）+（B）+（C）		6,568,911	

4 款 諸支出金

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R01	4,082,000	4,079,269	0	2,731	99.9%
H30	1,043,000	1,040,462	0	2,538	99.8%
増減	3,039,000	3,038,807	0	193	

- ➡ 支出済額は、前年度に対し 3,038,807 円（292.1%）増加している。
- ➡ 増の主な要因は、財政調整基金積立金、一般会計繰出金である。

5 款 予備費

(単位：円)

年度	当初・補正予算額	予備費充当額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R01	7,466,000	0	0	7,466,000	
H30	9,067,000	0	0	9,067,000	
増減	△ 1,601,000	0	0	△ 1,601,000	

- ➡ 予備費充当額はなく、不用額は 7,466,000 円である。

## 第6 財産に関する調書

令和2年度における財産増減状況は、次のとおりである。

### 1 公有財産

#### (1) 土地及び建物

##### ① 土地

(単位：㎡)

区分	H30年度末現在高	増減	R01年度末現在高
行政財産	725	0	725
普通財産	13,945,404	△ 1,263	13,944,141
合計	13,946,129	△ 1,263	13,944,866

→本年度末現在高は13,944,866㎡で、前年度と比較し1,263㎡減少している。

##### ② 建物

(単位：㎡)

区分	H30年度末現在高	増減	R01年度末現在高
行政財産	297	0	297
普通財産	16	0	16
合計	313	0	313

→本年度建物の増減はなく、本年度末現在高は313㎡となっている。

#### (2) 山林

##### ① 面積

(単位：㎡)

区分	H30年度末現在高	増減	R01年度末現在高
所有	10,481,456	0	10,481,456
分収	3,181,102	0	3,181,102
貸付	93,608	0	93,608
合計	13,756,166	0	13,756,166

##### ② 立木推定蓄積量

(単位：㎡)

区分	H30年度末現在高	増減	R01年度末現在高
所有	399,208	5,544	404,752
分収	(101,265)	(1,699)	(102,964)
(全体蓄積量) ※下段が財産区分	42,117	821	42,938
貸付	0	0	0
合計	(101,265) 441,325	(1,699) 6,365	(102,964) 447,690

→山林面積の増減はなく、本年度末現在高は13,756,166㎡となっている。また、立木推定蓄積量の本年度末現在高は、447,690㎡で、前年度と比較し6,365㎡増加している。

→②表中の分収・合計欄は、分収林の全体蓄積量を上段( )とし、下段に財産区分(合計欄は所有含む。)を記入した。

→所有・貸付は台帳整理、分収は施業面積。

### (3) 出資による権利

(単位：千円)

区 分		H30年度末 現在高	増減	R01年度末 現在高
くま中央森林組合	出資金	2,674	0	2,674

➡出資による権利の本年度末現在高に変動はなく、くま中央森林組合への出資金 2,674 千円となっている。

## 2 物品

(単位：台)

区分	H30年度末現在高	増減	R01年度末現在高
物品	2	0	2

➡物品は、「人吉市物品会計規則」第3条第2項の規定に基づき、取得価格又は取得評価額が1点50万円以上の物品の合計額とした。

#### <車両保有状況>

(単位：台)

車種区分	H30年度末 現在高	増減	R01年度末 現在高
普通乗用車（キャラバン）	1	0	1
普通乗用車（エクストレイル）	1	0	1
合計	2	0	2

➡車両の保有状況については表記のとおりであり、本年度末現在高に変動はない。

## 3 基金

### (1) 財政調整基金

(単位：千円)

区分	H30年度末 現在高	増減	R01年度末 現在高
預金	207,549	△ 4,912	202,637
合計	207,549	△ 4,912	202,637

### (2) 繰出金調整基金

(単位：千円)

区分	H30年度末 現在高	増減	R01年度末 現在高
預金	976	△ 588	388
合計	976	△ 588	388

➡基金の本年度末現在高については表記のとおりである。

## 審査のむすび

令和元年度の藍田財産区特別会計の決算は前述のとおりである。

### 1. 概要

藍田財産区の山林面積は、平成31年4月現在の本市の山林面積15,947haの8.6%にあたる1,376haとなっている。この内、施業計画面積（直営林）は1,061.31haで、その内訳は、人工林805.74ha、天然林247.82ha、竹林2.38ha、その他5.37haとなっている。

本年度の財産管理に関しては、素材生産販売委託事業として素材（材積249.441m<sup>3</sup>）を販売したほか、同様に継続事業として、区有林内の事故、盗伐防止のための区有林巡視業務委託事業が実施されている。また、藍田財産管理協力会交付金として、藍田地区の各団体連絡協議会等への運営費等7件の交付が行われており、その内訳は、団体運営費交付金（7団体）731千円、西間上町公民館新築工事1,000千円の合計1,731千円（前年度1,462千円）となっている。

なお、財産造成事業に関しては、本年度も実施されていない。

### 2. 歳入及び歳出

次に、本年度の歳入歳出についてみると、歳入は前年度に対し7,014千円（19.9%）減少している。これは、素材売払収入が9,039千円（74.1%）の減となったことが主な要因と考えられる。

一方、歳出は、前年度に対し5,522千円（22.3%）減少している。これは、財産管理費における委託料が対前年度比6,713千円（61.8%）の減となったことが主な要因と考えられる。

### 3. 所見

森林・林業基本法は、モントリオールプロセス等の国際的な文脈を踏まえながら、「森林の有する多面的機能の持続的な発揮」という表現で、「持続可能な森林経営」を位置付けており、森林・林業基本計画においても、林業が森林生態系の生産力に基礎をおいていること、今後の森林の整備・保全に当たって生物多様性保全の考え方を踏まえることなどが強調されている。

また、国は、森林・林業基本法及び森林・林業基本計画の理念において、木材生産だけを追求するのではなく、持続可能な森林経営の実現を基本としていることから、これからの地域の森林・林業の構想については、この点を十分に踏まえながら進めていかなければならないことはいうまでもない。

これまでの藍田財産区の財政運営を検証すると、財政調整基金については、平成18年度から国債運用がなされ平成28年度までに運用利息37,950千円を計上することができた。しかし、平成29年度以降においては、国の低金利政策もあり、これまで同様の運用利息は期待できないことから、今後における歳入財源は、主要事業収入である素材販売収入に頼ることとなり、不足する分を財政調整基金から補填するという厳しい財政状況が今後も継続するものと予想される。

よって、今後の財産区の運営にあたっては、これらの厳しい現状を再認識し施業計画を基本とするきめ細かな森林計画のもと、積極的な財産形成及び財産の有効利用に努められるとともに、健全な財政運営を損なうことのないように、財産の管理及び処分については、地方自治法に定められた財産区の基本原則を認識し、的確な事務処理に努められたい。

## 審查資料

第 1 表	歲入歲出決算總括表	1 2
第 2 表	歲入決算年度比較表	1 3
第 3 表	歲出決算年度比較表	1 4
第 4 表	性質別分類比較表	1 5
第 5 表	節別分類比較表	1 6

## 歳入歳出決算総括表

(歳入)

款別	区別	当初予算額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
県支出金		2,000	0	2,000	0	0	0	0
財産収入		17,635,000	△ 12,664,000	4,971,000	5,128,023	5,115,853	0	12,170
繰入金		10,589,000	△ 2,500,000	8,089,000	8,088,286	8,088,286	0	0
繰越金		6,000,000	4,547,000	10,547,000	10,547,037	10,547,037	0	0
諸収入		10,000	4,497,000	4,507,000	4,499,548	4,499,548	0	0
合計		34,236,000	△ 6,120,000	28,116,000	28,262,894	28,250,724	0	12,170

(単位:円)

(歳出)

款別	区別	当初予算額	補正予算額	予備費支出及び び流用増減	予算現額	支出済額	不用額
議会会費		6,155,000	△ 810,000	0	5,345,000	5,236,524	108,476
総務費		4,017,000	△ 200,000	0	3,817,000	3,284,573	532,427
財産費		15,406,000	△ 8,000,000	0	7,406,000	6,594,816	811,184
諸支出金		6,400,000	△ 2,319,000	1,000	4,082,000	4,079,269	2,731
予備費		2,258,000	5,209,000	△ 1,000	7,466,000	0	7,466,000
合計		34,236,000	△ 6,120,000	0	28,116,000	19,195,182	8,920,818

(単位:円)

第2表

## 歳入決算年度比較表

(単位：円・%)

区分 款別	年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額に 対する増減	予算現額 対収入 済額比	調定額 対収入 済額比	収入済額	
										構成比	前年度 対比
県支出金	H29	2,000	0	0	0	0	△ 2,000	-	-	-	-
	H30	2,000	0	0	0	0	△ 2,000	-	-	-	-
	R01	2,000	0	0	0	0	△ 2,000	-	-	-	-
財産収入	H29	17,654,000	16,767,396	16,767,396	0	0	△ 886,604	95.0	100.0	46.1	△ 16.2
	H30	13,966,000	14,142,394	14,098,719	0	43,675	132,719	101.0	99.7	40.0	△ 15.9
	R01	4,971,000	5,128,023	5,115,853	0	12,170	144,853	102.9	99.8	18.1	△ 63.7
繰入金	H29	6,454,000	6,453,435	6,453,435	0	0	△ 565	100.0	100.0	17.8	22.5
	H30	940,000	939,384	939,384	0	0	△ 616	99.9	100.0	2.6	△ 85.4
	R01	8,089,000	8,088,286	8,088,286	0	0	△ 714	100.0	100.0	28.6	761.0
繰越金	H29	9,455,000	9,455,598	9,455,598	0	0	598	100.0	100.0	26.0	△ 28.0
	H30	11,321,000	11,321,845	11,321,845	0	0	845	100.0	100.0	32.1	19.7
	R01	10,547,000	10,547,037	10,547,037	0	0	37	100.0	100.0	37.4	△ 6.8
諸収入	H29	3,074,000	3,653,567	3,653,567	0	0	579,567	118.9	100.0	10.1	66.2
	H30	8,906,000	8,904,355	8,904,355	0	0	△ 1,645	100.0	100.0	25.3	143.7
	R01	4,507,000	4,499,548	4,499,548	0	0	△ 7,452	99.8	100.0	15.9	△ 49.5
合計	H29	36,639,000	36,329,996	36,329,996	0	0	△ 309,004	99.2	100.0	100.0	△ 10.5
	H30	35,135,000	35,307,978	35,264,303	0	43,675	129,303	100.4	99.9	100.0	△ 2.9
	R01	28,116,000	28,262,894	28,250,724	0	12,170	134,724	100.5	100.0	100.0	△ 19.9

第3表

## 歳出決算年度比較表

(単位：円・%)

款別	区分	年度	予算現額		支出済額		不金額		費用		執行率	前年度対比
			金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率		
議 会 費		H29	4,525,000	12.3	4,319,619	17.3	205,381	1.8	4.5	95.5	△ 1.8	
		H30	5,036,000	14.3	4,685,469	18.9	350,531	3.4	7.0	93.0	8.5	
		R01	5,345,000	19.0	5,236,524	27.3	108,476	1.2	2.0	98.0	11.8	
総 務 費		H29	3,435,000	9.4	2,828,115	11.3	606,885	5.2	17.7	82.3	△ 53.0	
		H30	3,722,000	10.6	3,030,765	12.3	691,235	6.6	18.6	81.4	7.2	
		R01	3,817,000	13.6	3,284,573	17.1	532,427	6.0	13.9	86.1	8.4	
財 産 費		H29	16,747,000	45.7	16,038,354	64.1	708,646	6.1	4.2	95.8	△ 4.7	
		H30	16,267,000	46.3	15,960,570	64.6	306,430	3.0	1.9	98.1	△ 0.5	
		R01	7,406,000	26.3	6,594,816	34.4	811,184	9.1	11.0	89.0	△ 58.7	
諸 支 出 金		H29	1,824,000	5.0	1,822,063	7.3	1,937	0.0	0.1	99.9	△ 53.3	
		H30	1,043,000	3.0	1,040,462	4.2	2,538	0.0	0.2	99.8	△ 42.9	
		R01	4,082,000	14.5	4,079,269	21.2	2,731	0.0	0.1	99.9	292.1	
予 備 費		H29	10,108,000	27.6			10,108,000	86.9	100.0			
		H30	9,067,000	25.8			9,067,000	87.0	100.0			
		R01	7,466,000	26.6			7,466,000	83.7	100.0			
合 計		H29	36,639,000	100.0	25,008,151	100.0	11,630,849	100.0	31.7	68.3	△ 19.7	
		H30	35,135,000	100.0	24,717,266	100.0	10,417,734	100.0	29.7	70.3	△ 1.2	
		R01	28,116,000	100.0	19,195,182	100.0	8,920,818	100.0	31.7	68.3	△ 22.3	

第4表

性質別分類比較表

(単位：円・%)

区分 年度別	決算額			構成比率			すう勢指数			前年度との増減		
	性質別	R01	H30	H29	R01	H30	H29	R01	H30	H29	金額	増減率
人件費	5,897,499	5,468,211	5,511,578	30.7	22.1	22.0	107.0	99.2	100.0		429,288	7.9
物件費	7,153,036	16,253,925	15,371,319	37.3	65.8	61.5	46.5	105.7	100.0		△ 9,100,889	△ 56.0
投資的経費	0	0	0	-	-	-	-	-	-		-	-
繰出金	1,491,260	939,384	1,453,435	7.8	3.8	5.8	102.6	64.6	100.0		551,876	58.7
補助費等	2,065,378	1,954,668	2,303,191	10.7	7.9	9.2	89.7	84.9	100.0		110,710	5.7
その他の経費	2,588,009	101,078	368,628	13.5	0.4	1.5	702.1	27.4	100.0		2,486,931	2,460.4
合計	19,195,182	24,717,266	25,008,151	100.0	100.0	100.0	76.8	98.8	100.0		△ 5,522,084	△ 22.3

第5表

## 節別分類比較表

(単位：円・%)

節別	区分	令和元年度				平成30年度		平成29年度		増減	
		予算現額	決算額(イ)	構成比率	不用額	決算額(ロ)	構成比率	決算額	構成比率	決算額(イ)-(ロ)	前年度対比
1	報酬	5,663,000	5,656,000	29.5	7,000	5,167,000	20.9	5,270,400	21.1	489,000	9.5
2	給料	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
3	職員手当等	103,000	18,351	0.1	84,649	68,387	0.3	17,983	0.1	△ 50,036	△ 73.2
4	共济費	276,000	223,148	1.2	52,852	214,824	0.9	205,195	0.8	8,324	3.9
5	災害補償費	0	0	—	0	0	—	0	—	—	—
7	賃金	37,000	0	—	37,000	0	—	0	—	0	—
9	旅費	442,000	432,980	2.2	9,020	862,610	3.5	191,000	0.8	△ 429,630	△ 49.8
10	交際費	17,000	8,468	0.0	8,532	3,240	0.0	3,888	0.0	5,228	161.4
11	需用費	1,186,000	783,790	4.1	402,210	710,802	2.9	523,501	2.1	72,988	10.3
12	役務費	520,000	374,385	1.9	145,615	434,504	1.8	373,695	1.5	△ 60,119	△ 13.8
13	委託料	4,531,000	4,155,291	21.6	375,709	10,868,573	44.0	12,648,572	50.6	△ 6,713,282	△ 61.8
14	使用料及び賃借料	727,000	666,650	3.5	60,350	542,200	2.2	708,610	2.8	124,450	23.0
16	原材料費	343,000	227,280	1.2	115,720	358,236	1.4	850,824	3.4	△ 130,956	△ 36.6
17	公有財産購入費	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
18	備品購入費	665,000	555,770	2.9	109,230	2,598,728	10.5	133,920	0.5	△ 2,042,958	△ 78.6
19	負担金補助及び交付金	1,756,000	1,738,800	9.1	17,200	1,469,900	5.9	1,887,100	7.5	268,900	18.3
24	投資及び出資金	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
25	積立金	2,589,000	2,588,009	13.5	991	101,078	0.4	368,628	1.5	2,486,931	2,460.4
27	公課費	300,000	275,000	1.4	25,000	377,800	1.5	371,400	1.5	△ 102,800	△ 27.2
28	繰出金	1,492,000	1,491,260	7.8	740	939,384	3.8	1,453,435	5.8	551,876	58.7
	予備費	7,466,000	0	—	7,466,000	0	—	0	—	0	—
	合計	28,116,000	19,195,182	100.0	8,920,818	24,717,266	100.0	25,008,151	100.0	△ 5,522,084	△ 22.3

